

市内景気動向調査結果

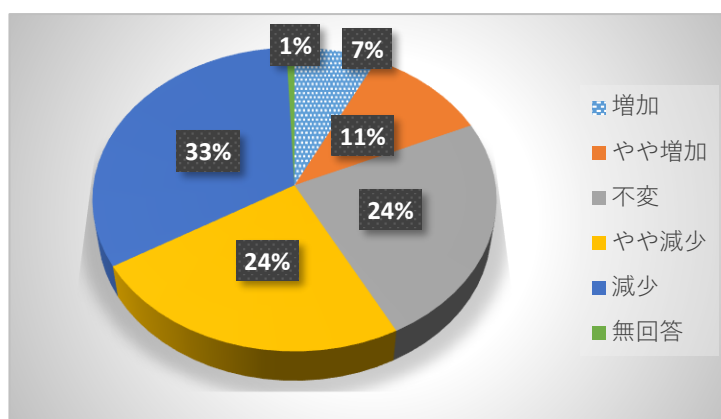
この調査は、第1四半期（本年4月から6月）と前年の同期間（3ヶ月）を比較し当商工会員より回答いただいたものです。

有効回答数	建設業	製造業	運輸業	卸小売業	サービス業	その他
137	37	20	10	28	30	12

※その他は、回答数が少なかった不動産業、金融保険業、飲食業、組合

1. 売上高はどう変化したか。

増加	10
やや増加	15
不変	33
やや減少	33
減少	45
無回答	1
合計	137

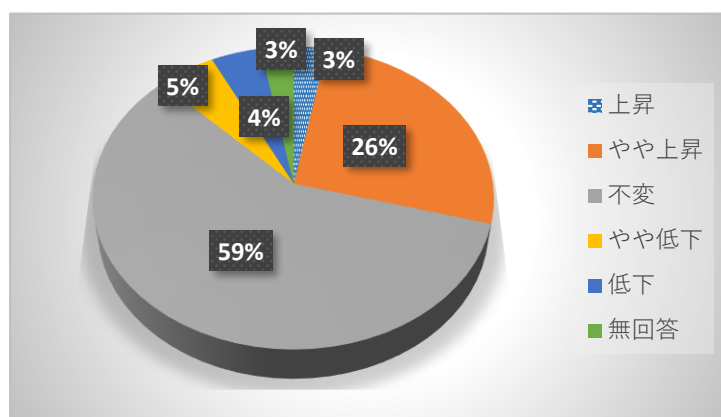


【コメント】

- 増加・やや増加が18.2%、不変が24.1%、やや減少・減少が56.9であった。前期は、増加・やや増加が43.5%、不変が17.6%、やや減少・減少が38.8%であったため、大幅に悪化している状況となった。
- やや減少・減少の業種別割合は、飲食業が83.3%、卸小売業が64.3%、製造業が60%、建設業が40.5%であった。

2. 仕入単価はどう変化したか。

上昇	4
やや上昇	36
不変	80
やや低下	7
低下	6
無回答	4
合計	137

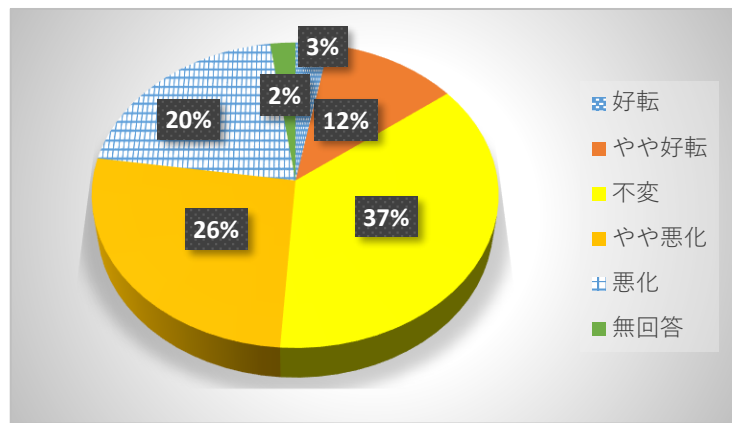


【コメント】

- 増加・やや増加が29.2%、不変が58.4%、やや低下・低下が9.4%であった。前期は、上昇・やや上昇が69.4%、不変が24.7%、やや低下・低下が1.2%で仕入単価の上昇は落ち着いている状況。
- 上昇・やや状況の業種別割合は、建設業が35.1%、製造業が30%、卸小売業が28.6%、サービス業が23.3%、製造業が20%であった。

3. 採算について

好転	4
やや好転	16
不変	50
やや悪化	36
悪化	28
無回答	3
合計	137

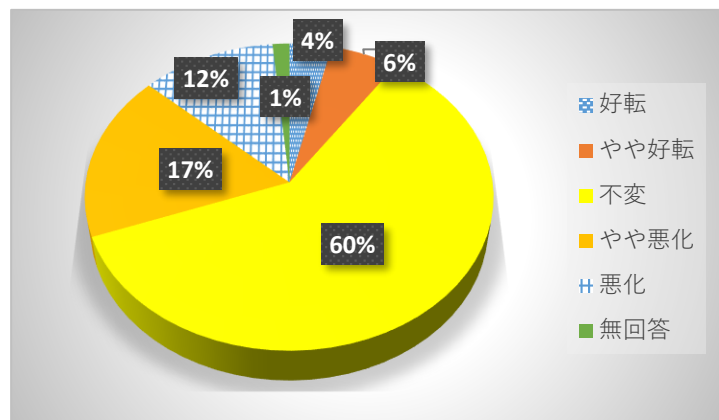


【コメント】

- 好転・やや好転が14.6%、不変が36.5%、やや悪化・悪化が46.7%であった。前期の好転・やや好転が36.1%、不変が30.6%、やや悪化・悪化が34.1%でやや悪化・悪化が多少改善したものの、好転・やや好転が大きくマイナスとなった。
- やや悪化・悪化の業種別割合は、運輸業が70%、飲食業が66.7%、卸小売業が57.1%、製造業が55%、サービス業が43.3%、建設業が29.7%であった。
- 売上の減少等で採算が悪化した。

4. 資金繰りについて

好転	5
やや好転	8
不変	82
やや悪化	24
悪化	16
無回答	2
合計	137

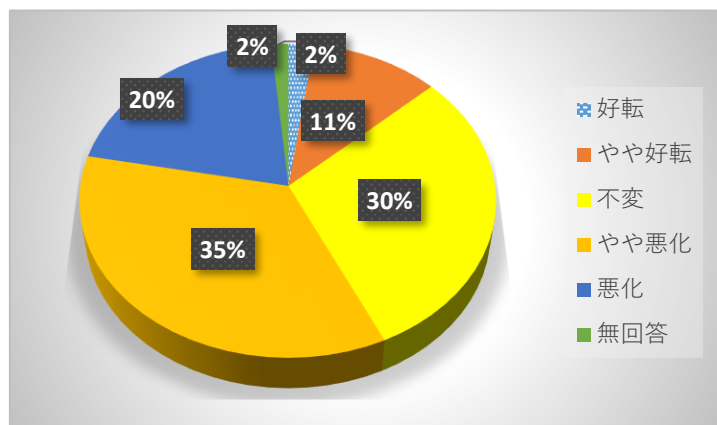


【コメント】

- 好転・やや好転は9.5%、不変が59.8%、やや悪化・悪化が29.2%であった。前期の好転・やや好転が25.9%、不変が55.3%、やや悪化・悪化が16.5%であった。採算の悪化が資金繰りに影響を与えている。
- 資金繰り悪化の割合が高い業種では、飲食業が50%、卸小売業が42.8%であった。

5. 業況について

好転	3
やや好転	15
不変	41
やや悪化	48
悪化	28
無回答	2
合計	137

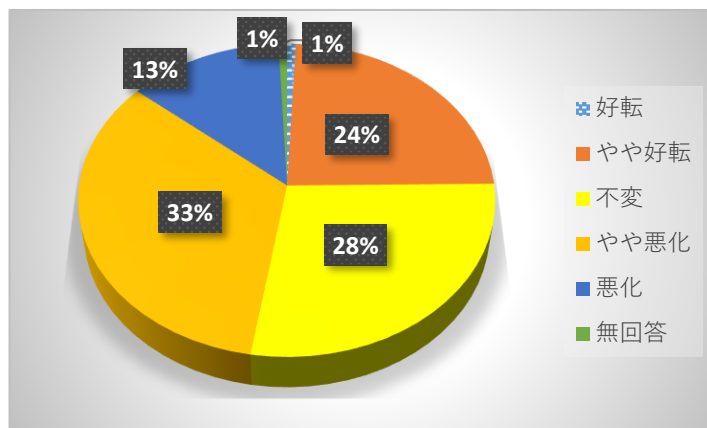


【コメント】

- 好転・やや好転は13.1%、不変が29.9%、やや悪化・悪化が55.4%であった。前期は、好転・やや好転が37.6%、不変が31.7%、やや悪化・悪化が30.6%で悪化の割合は減少したものの、好転・やや好転が大きくマイナスとなった。

6. 今後3ヶ月間の業況について

好転	1
やや好転	33
不変	38
やや悪化	46
悪化	18
無回答	1
合計	137



【コメント】

- 好転・やや好転が24.8%、不変が27.7%、やや悪化・悪化が46.7%で、前期は好転・やや好転が35.3%、不変が35.3%、やや悪化・悪化が29.4%であった。
- 4~6月期と比較すると、好転・やや好転が11.7ポイント上昇し、業況改善への期待感が伺える。

■回答事業所からのコメント

- 弊社はコンビニエンスストアへの取引が100%ですが、コンビニエンスストア自体の来店客数が前年比で約80%台まで落ち込んだため、弊社も引きずられた状況です。仕入自体は全国共有の食材のため、グローバルメリットがまだ効いていますので、特に変化はありません。売上が今までになく悪いため、損益が大きいです。今後については、コロナ前までに戻るには1年程はかかると考えていますので、様々な改善を試み、損益分岐点を下げるしかないと考えております。
- コロナウイルスで休業が1ヶ月以上続いたので
- 新型コロナウイルスの間接的な影響により、一般の風邪薬の消費に減少傾向が見られ、物資の一部に値上げがあり業況は厳しい予想となっている。
- 建設業は、まだコロナの影響を受けていないが、今後は大いに懸念される。
- 4月までは例年どおりの売上でしたが、5月、6月と例年の6割以下に減少。7月以降は徐々に回復してくると思いますが、年間通しての売上はかなりマイナスとなると思います。コロナによる影響と思われます。持続化給付金のおかげで現在はなんとかしのいでいる状況です。
- コロナウイルスの影響により取引先の設備投資が減少すると思う
- 事業の停止、延期等のため
- 現時点ではコロナウイルスの影響はありませんが、今後影響してくる可能性が高い。
- 現況の経済状況が一般家庭にも企業にも大きく影響を及ぼしているのは言わずと知れたことと思います
- 新型コロナ感染予防のため、人の動きが減少し物が動かなかったことによる仕事量の減少とガソリン代の値上がり等により、売上の減少、仕入の上昇が主な原因であります。今後人の出入りによる物流量があれば売上が上昇すると考えられますが、ガソリンの値段の不安定で仕入れの値段がどうなるのかやや不安に思います。
- 新聞部数の減、チラシの減
- 職業柄、今のところコロナの影響は殆どありません

- 農業資材の製造販売に関連する業務請負が主のため、一般的な景気動向やコロナウイルス等の影響を直接受けないため。長期的にはマイナスの影響として現れてくるかもしれません
- コロナで売上悪化していたが、回復の兆しも出てきている
- 取引先の業績好転に伴い設備投資が積極的となり、改修工事等の受注が増加した
- 公共工事に左右されることが多いですが、今のところ減少傾向にはなっていないため。今後コロナの影響がどうであるかは先行き不透明です。
- 店舗内装なので、新店も見通しがなく、少々の改装工事がポツポツといった感じです。先の明るい見通しは無さそうです。
- 新型コロナの影響により、どこまで荷主先の物量が増えるか不明なため
- やはりコロナの影響があると思います。コロナが落ち着いてから工事をしたいという実例がありました
- 今後が不安です
- 業種的に経済が悪化しても3~6ヶ月後に実績が表れる。現況は影響を受けた企業のみの変化です
- 個人消費の中でも衣料品等の消費に影響を受ける業種のため
- 新型コロナ感染症の流行により各種イベントが中止、延期となり印刷物の受注が減少した
- いわゆるコロナの関連で、お客様の心境の変化があり積極性に欠け、辛抱されているのではないかと思います。当社は何かと我慢強さが要求される業種のため、動向を見ていきたい
- 外出自粛と同業他社からの感染者の出現
- 宿泊者減少が大きな要因
- 受注高の変化はありませんでした
- 工事の発注が遅いので分からない部分が多い。今後はボールパークがらみの発注が期待できるので好転すると予想
- 4~6月は預かり（ホテル）の売上がほぼなしでしたが、回復してきている
- 支援もいただき今後に繋がります
- 消費増税とコロナウイルスが全てと思う。V字回復どころか、ある程度回復するまで3年くらい時間が必要ではないか。定額給付金の10万円も持続化給付金の200万円も財務省はどこかで増税してキッチリ取り上げることが目に見えている。江戸時代なら年貢が高く一揆が起きていたと思う
- 4月1日より北広島市住宅支援事業がスタートしたことにより集客および業績向上に繋がったことに感謝しております。またコロナ感染の第3、第4波の可能性も含めオンラインのCX（顧客体験）をシステム化していかないと今後の事業運営が更に厳しい時代になると感じております
- 6月に入り一般家庭の仕事が増えてきて商業関連も増えてきたので、上向き傾向ではあります
- 新型コロナウイルスの影響は現時点ではありませんが、先行きは不透明です（特に秋以降）
- 昨年7月より配送業務用の施設を直販店舗兼用に改装したため、4~6月期にコロナウイルスの影響があったものの、昨年同期との比較という意味では売上等の上昇がありました
- 4月~6月は現場が止まったり、工事が延期になるなどの理由で売上が落ちました。資金繰りに関しては、見通しが立っているので今のところ問題はありません。7月以降、工事も再開し、今後の受注も決まっているので徐々に回復するのではと期待しています
- まだ多少コロナの影響が残っているので、先の業況が読めません
- 前年度は特別な案件があったため
- 今のところ変化なく仕事は動いていますが、これから先はどうか、コロナで心配です
- コロナによるものと思います
- 受注量が少なくなっている
- 時代の変化
- コロナウイルス等による仕事の減少のため

- 新型コロナウイルスの影響と景気全体の落ち込みによるもので計画の中止・延期が目立つ
- 今後、コロナの影響が不安
- コロナの影響で中止・延期の物件が増加。今後の物件においても先行き不透明な状況。
- 新店舗が新聞・メディアで紹介された為
- お客様の外出を控える動きが影響してる
- 新型コロナウイルスの影響で2月下旬より売上が3~4割減少していたが、6月後半よりお客様が戻り始めたので再び感染拡大しないことを祈ります。
- 元請からの工事受注できず、前年より売り上げ半減の予定。現時点で個人からの売り上げも難しい。資金繰りについては借入をしておらず、自己資金で行っている。
- イベント関係が軒並み中止となり、業界全体が前年比マイナスになってきている。
- コロナウイルスにより大手ゼネコンが建設工事を一時中断。2~3カ月延期したため
- コロナの影響により全く仕事のない状況
- 新型コロナの影響により新規入居者やデイサービスの方々の働きが慎重になったため。
- コロナの影響で現状やっと動き出したが物価も上がって新規事業所には融資も少ししか下りず、今後またコロナで休業などあると思うと心配。
- コロナウイルス感染拡大防止のため色々なイベント中止の為、販売のキャンセルを受ける。
- コロナの影響による現場の延期。今期より来期以降の方が仕事が減る予想。
- 気持ち的には悪くなった気がしますが、実際はあまり悪い感じはしません（お客様の動き問い合わせ等）
- 当社はホームセンターの為新型コロナウイルスの影響でマスク・消毒液等個人消費の商品が好調であったこと、単籠でDIY商品を購入するお客様が多かったことなどにより売り上げをUPすることができた。仕入れ価格は鉄・木製品の原価が上昇、今後の業況については、夏物の動きが例年と比較してどのように動くかで売り上げが変わると思われるが、当社としてはマイナスとみている。プラス要因としては給付金での買い物で高額商品が動くことにより、売上UPできればと思っている。
- コロナの影響かと思われる。
- ①外国での生産活動停止による資材遅延、資機材の価格高騰によるコスト増②民間需要の減少による受注量・売上高の減少・地域間移動の自粛による労働力の確保ができないためのコスト増③三蜜回避するために営業活動の妨げとコロナ対策費のコスト増による。
- 新型コロナウイルスの影響でお客様がこない。行政の要望のテイクアウトなど導入しても注文が入らず、材料を無駄にしてしまう。何をやっても悪循環。
- 講演や大学への出店中止、イベント・お祭等の中止。
- イベント等の中止。
- 病院・施設の制限があり業協は悪化。消毒剤・マスクの仕入れが多くなった（3~5月）。これからもコロナ禍が続くと思うのでまだまだ気は抜けない。7~9月はやや悪化で済んでほしい。
- 4月より新しい事業展開をしており売り上げはUPしているものの、新規の顧客が止まっており予想は下回っているが、全体的には良好である。これからはコロナ次第ではあるがやや好転する予想をしている。
- 7月の予定現場が進行せず（7月の新規は1件のみ）、9~10月に入る見込み。
- コロナの影響が大変大きい。対策としてテイクアウトのお弁当を始め、7/14に3,000部新聞折り込みチラシを入れた。その後少し売上は伸びたが、4、5月は営業日数も少なく、前年比70%減と大変厳しい状況。
- 3~5月に関してはすべての事業が閉鎖状況となり、厳しい状況でしたが、6月以降に関しては順調に生徒の増があり、更に新規事業に関しての展開もあり、回復の見込み。
- 取引先の廃業が影響
- 弊社はアルコール消毒剤メーカーであり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため増産が続いている。未だに受注残があり、他の製造品を含めた安定供給は年度いっぱいかかる見通し。

